

2013年度第8回執行理事会議事録

期 日：2014年2月1日（土）13:00～17:50

場 所：地質学会事務所

出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 伊藤(15時半退出) 井龍 高木 内藤 中澤 西 星 保柳 (17時退出) 松田 山路 山本 (事務局) 橋辺

欠席者(委任状提出, 未記入議場委任): 坂口 平田 山口

*定足数 (12, 委任状含む) に対し, 出席者15名, 委任状3名, 合計18名の出席.

*前回議事録の確認 異議なく確認された.

I 審議事項

1. 論文のカテゴリー増設などに伴う, 地質学雑誌投稿編集出版規則の改正について (山路理事)

「講座」新設, 第三外国語の取扱い明確化, ネット情報の引用解禁などを含むように, 投稿編集出版規則を改正する方向で規則案を練り, 4月理事会への提案を目指す.

2. 富士・青木ヶ原たんけんマップの追加検討事項の確認 (保柳)

理事会でのコメントに対する修正済み, イラストのリライトを菅谷恭子氏 (HP地質漫画担当, ジオルジュさし絵担当) に依頼, イラストの完成を待って, 今年度中に印刷予定.

理事会での承認は, 現在作業中の最終的なレイアウトができた段階でメール審議とする.

3. 地質学会ロゴマークの使用規定について (内藤理事)

使用規則 (案) を検討した. 使用の範囲等を再検討し, 3月執行理事会でチェックし, 4月理事会への提案を目指す. 商標登録する.

4. 2015年信州大会会場及び日程について (保柳理事・星理事)

改修工事のため, 予定した松本キャンパスでの実施は困難になった. 工学部 (長野市) は使用可能 (9/19-21) を確認. 工学部にするか別途会場にするか, 大至急LOCに検討を依頼した.

5. 山田科学振興財団研究援助への応募 (3件) について

3件の応募を検討し, 一部申請書の追加修正を助言することとして, 承認した.

6. 来年度の事業計画基本方針 (案) 修正検討について (石渡会長)

内容の一部について実情を確認したうえで修正加筆を施し, 4月の理事会で承認.

7. 総会の出席率を高める催しの検討, 関連行事のスケジュール (斎藤常務)

フォトコン表彰を午前中, シンポ「地質学トップ

セミナー」(仮称) (2時間程度) を午後開催. シンポは幅広い分野から4本程度 (各20分) の講演を行ってもらう. 以下のような日程構成とする.

午前中: 2013年度: 執行理事会・フォトコン表彰式

昼休み

午後: シンポジウム・総会・2014年度理事会

8. 「共立スマートライブラリー」の出版企画にたいする, 対応担当窓口, 内容の検討手順について.

企画出版部会に対して, 早急に担当者を決めるよう依頼し, 次回執行理事会までに決める.

9. 杉並区立科学館廃止 (27年度末) 問題への対応 (高木理事)

要望 (案) の文面を再検討した上で, 会長名で区長宛に科学館事業の継続を要望する. 継続が困難な場合でも設備, 器具, 標本等を有効・適切に活用できる場の確保を要望する. パブコメ受け中の2月20日までに提出する.

10. 2015年地惑連合大会におけるGSAとの共催について (石渡会長)

共催実現の場合, 地質学会は主に巡検立案・実施と案内書作成を行うことになる.

11. その他

1) 電子出版「地学を楽しく!」を他の出版社から冊子版で出版希望の件.

現在Kindleから出ている. 著者に詳しい要望を聞く. 学会の立場も説明する.

2) 堆積学会より, 「2014 Distinguished International Lecture for The Geological Society of America (GSA)」に選出されたユタ大学のMajorie Chan教授の講演会について, 共催の申し入れがあった. 講演会は5月9日 (東京), 11日 (京都) に開催予定. (伊藤理事)

共催を承諾し, 経費の一部支出を承認. 額は未定.

「地質の日」にちなんで共催行事に位置づけたい旨を堆積学会に伝える.

II 報告事項

(1) 全体的報告

1. 選挙管理委員会より, 会長・副会長立候補意思表明者への投票による意向調査結果報告を受けた. 引き続き, 理事選挙の告示がされた.

2. 矢島委員より, 自然史連合による一般向け自然史書籍出版当初の予定はなくなり, 改めて誠文堂新光社から「子供の科学」90周年にからめて小学校低学年向けの自然科学書を出版する予定. 現在365のテーマを募集中. 地質学会会員からの分を整理して提案することになる.

(2) 運営財政部会: 総務委員会 (西・山本)

<共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1. 消防庁消防技術政策室より、「消防防災科学技術研究推進制度」平成26年度研究開発課題の公募案内→募集期間1/6-2/7, 消防庁の指定テーマによるもの→geo-flash, HPに掲載.
2. 地球化学会よりゴールドシュミット会議2016 (横浜市, 国内組織委員長 益田晴恵) の共催依頼があり, 承諾した. 費用負担なし.
3. 奥出雲多根自然博物館での, 地質学会の第3・4回フォトコンテスト入選作品展示会開催にあたり, 地質学会との共催申し入れがあり, 承諾した.
4. 地学オリンピック日本委員会から地学オリンピックならびに2016年国際地学オリンピックの広報活動の一環として, 地学オリンピックのキャラクターデザインを中高生から募集するコンテストを催すにあたり, 地質学会に共催の申し入れがあり承諾した.
今後, 共同主催者として地質学会は, “ちーとも”, 地学教育委員会などを利用し, 中高生に向けての広報活動, また地学オリンピック支援委員会にも共催の旨を報告し, 同委員会を通じて具体的な協力をし てゆくことになる.
5. 糸魚川ジオパーク協議会では, 同ジオパーク地域を対象とする学生・若手研究者に学術調査, 研究を支援する助成金(1件20万円)制度を予定している. 正式な応募開始は4月下旬からの予定であるが, News, geo-flash等で広報開始.
6. 静岡県より平成27年新設の県立博物館「ふじのくに地球環境史ミュージアム(仮称)」の研究職員3名の募集(環境史, 地質・岩石・地震, 生命・昆虫)案内→ geo-flash, HPに掲載.
7. 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 原子力小委員会 地層処分技術WGより「地層処分の技術的信頼性に関する意見募集」(期間1/24-2/24)の案内→ geo-flash, HPにて広報
8. 名称変更挨拶: 連合加盟学会, 「大気化学研究会」は2014年1月1日より「日本大気化学会」(会長今村隆史)に名称を変更した.
9. 水環境学会年会(3月17日-19日, 仙台)のお知らせ→ News誌, geo-flash, HPに掲載
10. 第39回リモートセンシングシンポジウム(11/15) 協賛御礼

<会員>

1. 今月の入会者(7名)
正会員(2名): 中満隆博, 谷本良治
正(院割)会員(3名): 2013年度から入会(2名) 間宮隆裕, 三宅優佳
2014年度から入会(1名) 安藤卓人
正(学割)会員(2名): 2013年度から入会 秋山大地, 木村祐太
2. 今月の退会者(正会員 3名)
山田真也, 野間恵理子, 池田友里恵
3. 今月の逝去者(正会員 1名)

北川芳男(2013年12月9日)

4. 2014年1月末日会員数
賛助:27 名誉:66 正会員:3901(正会員:3685 正(院割)会員:198, 正(学割)会員:18)
合計3994(昨年比-85)

<会計>

・2014年度予算案の方針, 各事業部会から来年度予算案についての要望提出を要請.

(3) 広報部会: 広報委員会(内藤・松田)

・ジオルジュライターとして久松和恵氏(非会員, JAMSTEC)・山田健太郎氏(会員, 東大総合文化研究科)が加わった.

・フォトコンの応募, 1/31〆切 応募数294件. 3/1に審査会.

・財)東京都公園協会の日比谷公園ギャラリーでのフォトコン入賞写真展の計画があり, 同協会との共催を申し入れる.

・「地質学者に答えてもらおう」への回答について数点未回答. 早めに対応.

・英語版HP整備を発注する.

(4) 学術研究部会: 行事委員会(星)

1) 学術大会巡検の協賛

昨年の仙台大会と同様に, 今年の鹿児島大会でも巡検協賛を関連学協会に依頼する.

2) 鹿児島大会の準備状況

・巡検案内書の原稿は1月末締切だが, 投稿されたのは半数程度. 案内書編集委員長を中心にうまく進めてもらう. 津波国際シンポの巡検のガイドも収録する.

・トピックセッションの募集を開始した.

・鉱物資源部会(新設)が責任母体となるレギュラーセッションを立ち上げる予定.

(5) 学術研究部会: 国際交流委員会(井龍)

1) 学術会議23期連携会員(6名以内)の推薦依頼があり推薦した. ただし, 同会議の要請により推薦者の氏名等は公表しない.

2) ロンドン地質学会と共同の津波シンポジウムについて(ウォリス副会長)

・第1回 鹿児島大会

シンポの援助金として5,000 GBP(800,000円)獲得. 招待者費用に充てる.

シンポ後の巡検に必要な発掘作業の援助も企業へ問い合わせ中

巡検は静岡, 房総方面を予定.

津波巡検案内書の準備状況

・第2回ロンドン(2015年9月25日予定)

援助金獲得についてなど

(6) 編集出版部会: 地質学雑誌編集委員会(山路)

1) 編集状況報告(1月30日現在).

・2013年投稿論文 総数73編 [論説38(和文37 英文1)・総説8(和文8)・報告6(和文5 英文1)・ノート2(和文2)・討論2・口絵8(和文7, 英文

- 1)・巡検案内書12]
・2014年投稿論文 総数5編 [論説4 (和文4)・報告1 (和文1)]
・査読中 22編 受理済み 1編
・120巻1月号:論説3,口絵1 (計36頁 1/28発送)
・120巻2月号:論説3,口絵1 (計約50頁 校正中)
- 2) 特集号の状況
「ジュラ系+」(世話人:松岡 篤ほか):2013. 12. 18査読開始. 概ね初回査読が終了, 修正中.
「地層処分と地球科学 (仮題)」(世話人:吉田英一ほか):昨年12月初旬に特集号の申込を受け付けたが, 各原稿の投稿状況が芳しくない (2/9編). 世話人を通じ著者へ投稿を促すよう連絡予定.
- 3) 論文カテゴリーに「講座」を設けることを検討し, 規則の変更を提案することとした.
- (7) 編集出版部会: Island Arc編集委員会 (伊藤)
・編集状況
- (8) 編集出版部会: 企画出版委員会 (山口・保柳)
・電子出版「ジオパークを楽しく」キンドルブックに掲載. 代表者の吉田氏より他の出版社より冊子版として発行したい旨連絡あり. → 審議事項へ
・岩波書店「地球全史スーパー年表」が解説, 年表ともおおそ校正が終わり, 2月中に発行.
- (9) 社会貢献部会 (高木・平田・中澤・保柳)
・2014年度地質の日のイベントについて, 応用地質

学会と共催の事業として準備中. 江東区の地盤沈下観察などを検討中. 5/10予定.
・春季研修会開催日程などの予定, 2014年度も春季, 秋季とも開催したい.

(10) ジオパーク支援委員会 (高木)

特になし

(11) 地学オリンピック支援委員会 (平田)

・1/11に委員会を開催. 地学オリンピック日本委員会に対し, 地学オリンピックのキャラクターデザインを, 中・高校生から募集することを地質学会との共催で実施することを提案.

(12) 中期ビジョン委員会

- ・メールで意見交換中
- ・合宿する予定 4/14-16

(13) 地質技術者教育委員会 (山本)

CPDについて各支部に連絡.

2014年3月8日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会 長 (代表理事) 石渡 明
署名人 執行理事 斎藤 眞